



自然と人間社会が共生する只見町

# 議会だより

No.170

令和5年1月27日発行

2023 JANUARY



## 私たちの発表会へようこそ

(表紙の説明は10ページへ)

議会報告会 多くの意見を頂きました！  
皆さんの声を町政に反映！ …………… 2～3  
11名が町政を問う！一般質問 …… 12～22

只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
議会中継へ→



# 皆さんの声を町政に反映!

11月27日3地区振興センターにおいて、「町や議会に望むこと」をテーマに54名の参加者を迎え開催。各項目ごとに分け対応策や問題点は各担当委員会にて協議、議会としての対応を今後の議会だよりで報告いたします。

## 主な質疑応答

**問** 観光町づくり協会のログハウスはどうなったのか。

**答** 建物は町の所有物ではなく町内事業者がまちづくり協会から購入され利用されることになった。

**問** 道の駅建設について議会としての考えは。

**答** 町からの提案を聞いている状況だ。

**問** 国道289号の道幅が狭い区間についてはどうなのか。

**答** 毎年議会では県に要望している。3小学校統合について。

**問** 3小学校統合について。

**答** 町として統合は考えていないと聞いている。



**問** 鳥獣被害は今年も出ている、捕獲した物をジビエ料理として提供はできないのか。

**答** 野生鳥獣は現在も国からの出荷制限があるため提供することはできない。

**問** もっと議会と話す場はないのか。

**答** 一般会議という制度を利用していただきたい。

**問** 町道認定や除雪対応について陳情したが、不採択となった。認定基準等の説明をしていただきたい。

**答** 町の町道認定基準に合わない事や、議会としても採択基準の中にもおおむね4年程度で実現や着手できるもの、など一定の基準を設けている。



只見振興センターでの参加者

## 貴重なご意見

### 役場・公共施設整備・除雪対策

- \*只見駅舎の複合施設、役場庁舎建設について、しっかりと町に提案していただきたい。
- \*駅前が整備され農作業車等で汚すことが無いように、農業用道路の整備できないものか。
- \*空家、道路などの除雪体制の強化。
- \*駅前庁舎の女子トイレは和式のまま、町の玄関でもあるので整備を望む。
- \*人口、定住対策に雪対策、除雪対策は重要。

### 農・林業振興

- \*森林環境譲与税の金額、使い道はどのようになっているのか。
- \*森林環境譲与税は、水害で被災した林道復旧整備に使えないか。
- \*農地の荒廃が進んでいる。特に畑について町は補助していくことはできないのか。
- \*林道整備、除草作業に支援はできないのか。
- \*薪ボイラー事業が先でなく森林整備、里山活用と言った大きな視点での事業推進を望む。



薪ボイラーが先か!



# 多くの意見を頂きました!

## JR只見線・観光

- \*只見線運航ダイヤや週末の増両などをJRに要望して欲しい。
- \*只見線観光について産業づくりを議会としてしっかりと町に提案してもらいたい。
- \*観光路線としての環境整備を望む。
- \*歳時記念館を締めているのは問題である。



朝日振興センターでの参加者

## 子育て若者定住環境

- \*子育て、待機児童が発生していると聞くが職員の人材確保が重要。
- \*冬期間子供を遊ばせる所がない、遊ばせる場所や施設があったらいい。
- \*保健福祉センターを開放されているが行きたい場所になっていない。お母さんが集まる場所がない。
- \*若者世代が安心して子育てをできる環境でないと、企業も働き手を確保できない。
- \*若い人が定着するには快適な冬期間の生活が必要ではないか。



遊ばせる施設が

## 国道289号八十里整備

- \*289号八十里開通に向けたスケジュールはどのようになっているのか。
- \*工事の進捗状況、施工箇所の工期の具体的な進捗、歩道などの整備。

## 議会の対応について

- \*陳情し、議会より採択をされたが、何時なっても、進まないがどの様になったのか。
- \*一般質問をした後はどうなっているのか、言いつばなしでないか、問題定義をしているだけの場になっていないか。

## その他

- \*町民映画祭『GOZE』は非常に好評だったので町民映画祭を継続開催して欲しい、又、町民音楽祭なども企画して欲しい。
- \*ものと暮らしのミュージアムでは5回ほどマルシェを開催している。地域の宝を磨きだしていくための支援が必要。
- \*只見地区の内水対策をしっかりと欲しい。
- \*プレミアム商品券の通年利用はできないのか。
- \*町の湯ら里への支援の仕方は適切か、委託金など無駄に使われてはいないか。



明和振興センターでの参加者

# 政改革大綱示される

## 主要内容

### 新型コロナウイルス感染症対策、 感染状況について

新型コロナウイルスの感染が第8波を迎え、町内でも感染者が増加している。なお一層の予防対策が必要。

**問** 学年閉鎖の実例がある。家庭学習の方法は、リモートの実例はあるか。

**答** 学年閉鎖の日数が1日、2日なので、プリント学習で実施している。リモート学習は今のところ実施していない。



会議では、新型コロナウイルス感染症対応についてなど、6項目に及ぶ議題について説明、質疑が行われました。

### 第5次只見町 行政改革大綱(案)について

只見町行政機構改革審議会へ諮問していた、「第5次只見町行政改革大綱(案)」の答申内容の説明。

第5次只見町行政改革大綱(案)とは第4次行政改革大綱が令和4年度で終了となり、令和5年度～令和9年度の新たな行政改革大綱を定め。人口減少・少子高齢化や国道289号の開通、大きく変わる社会情勢の変化を踏まえた行財政改革の推進の方針を定めたもの。

主な答申内容は人口減少対策を最優先した、「組織機構対策」「中長期的な財政の健全化」「事務事業の再編・整理・廃止・統合・評価」「職員の能力向上」について意見を付した答申。

**問** 現状に町職員全員が危機感を持つべきだ。

**答** 同様の意識が持てるよう、人材育成に努める。

**問** 大綱の中に示された目標値の設定の根拠はなにか。

**答** 現況をふまえた目標値を示している。



# 第5次只見町行

## 只見町第三セクター経営検討委員会の 経営検討報告書について

町の依頼を受けた只見町第三セクター検討委員会が、「株式会社 季の郷湯ら里」と「株式会社 会津ただみ振興公社」を対象として、経営状況の評価と経営改善策の検討を行ない、報告書として取りまとめた。

内容は、このままでは2社共に債務超過に陥り、経営の存続が危ぶまれるため、早急な経営改善策が必要であると述べている。

改善策としては、新会社設立後、2社が事業譲渡し、事業を継続する形が望ましいとしている。



新会社設立が望ましい！

**問** 今後は事業譲渡へ向けて進むのか。

**答** 新会社を設立し、事業譲渡へ進めたい。

**問** 経営状況が厳しい、との報告が遅れた理由は。

**答** コロナ禍の影響が収まれば改善する見解でいた。

## 第七次振興計画・総合戦略に係る 実施計画について

令和5年・6年度の事業計画についての説明があり、新事業として屋内運動広場整備事業、トレーニング機器導入事業、お試し住宅整備事業、観光周遊バス運行事業、只見線広場整備事業等があげられた。

**問** こども・子育て支援事業の積算根拠はなにか。

**答** 町民の声を聞くためのアンケート調査と分析を業者に委託して実施したい。

※議会全員協議会とは、町政全般にかかわる事項や、議会の運営に関する事項などを協議するため、全議員で行う会議、一般に町政に関する重要な事件や町議会内部の事項について報告・協議するため、必要に応じて開かれます。

# 職員定年年齢引き上げ

12月  
会議

- 只見町職員の定年年齢を現行の60歳から、段階的に65歳まで引き上げる

- 令和5年4月1日～  
令和7年3月31日まで 定年年齢 **61** 歳
- 令和7年4月1日～  
令和9年3月31日まで 定年年齢 **62** 歳
- 令和9年4月1日～  
令和11年3月31日まで 定年年齢 **63** 歳
- 令和11年4月1日～  
令和13年3月31日まで 定年年齢 **64** 歳
- 令和13年4月1日以降を **65** 歳定年とするもの。



\*このことにより、職員の再任用に関する条例、管理監督職の派遣の制限、勤務時間、休暇等に関する条例、一般職の任期付き職員の採用に関する条例などが改正された。

## 条例改正

条例改正が11議案提出され、全議案が賛成多数で可決しました。このうち8議案が地方公務員法の改正に伴う職員の定年年齢を65歳に引き上げることに関する所要改正。

### 主な質疑

**問** 大きな改正なので担当委員会以外の議員にも周知してほしかった。

**答** 今後は議長とも相談のうえ、検討したい。

**問** 定年延長することで、町職員の採用控えが発生しないか。

**答** 現在職員が定数割れしている状況のため、採用控えは想定されない。

**問** 人件費が増えることになる。町の財政は。

**答** 経験を活かし、若い職員の指導等、適材適所の人員配置を心掛ける。



### 他主な改正条例

- 農業委員会、委員長・委員及び農地利用最適化推進委員の報酬、費用弁償の一部を改正

- 納税証明書の記載事項の変更などに伴う条例の改正



# 物価高騰 町財政にも!!

一般会計補正予算内容は事業確定による予算補正、職員の給与改定補正、灯油・電気料金の値上げによる増額補正が主な補正内容

## \* 債務負担行為

(千円以下切り捨て)

ロータリー除雪車購入

# 1億2970万円



**問** 令和5年度降雪時期前に車両納入が完了する様、早期発注を行うため債務負担行為とするもの。

**答** 機械の機種やメーカーはあらかじめ決まっているか。

**問** あくまでも入札により、決定する。あらかじめ決まってはいいない。

**答** 「機種や仕様の決定をする前に担当オペレーターの意見を聞いてほしい」との声がある。今後の方針は、意見を伺ってはいたが、除雪会議等で更なる連携を取りたい。

**問** \*債務負担行為とは、一つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても「負担」支出をしなければならぬ場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。

**問** 小学校費・中学校費の補正額が多い、当初予算の算定が甘かったのでは。

**答** 換気をしながらのエアコンや、暖房により、想定以上の金額となった、今後は適正な予算計上に努める。

**問** 燃料・資材等値上がりしている。現状を把握した予算編成を。

**答** 十分配慮して予算編成に努める。

**問** 昨年はコロナ感染拡大を受け、直前に雪まつりを中止した。

**答** 開催する、しないの判断基準は、国・県の判断基準に準じ、実行委員会で決定したい。

**問** 実行委員会、来訪者等に向けたガイドラインの作成が必要ではないか。

**答** 県のガイドライン等を参考に周知したい。

## 燃料費・光熱水費

\* 一般会計補正予算合計額

# 1543万円

\* 特別会計補正予算合計額

# 1778万円



一般会計補正予算



\* 電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金

# 3010万円

住民税非課税世帯・家計急変家庭にそれぞれ5万円を支給するもの。

\* 町内利用商品券発行事業委託料

# 4250万円

物価高騰支援のため、町民1人当たり1万円の商品券を配布するもの。

# 人事 只見町教育委員・選任同意

- 住所 只見町大字只見字田中1093-3
- 氏名 五十嵐美香 氏
- 任期 令和5年より4年間

『教育委員の重要な職務は教育行政の基本方針や重要事項を審議決定。  
決定を受け教育長が事務局を指導監督し事務をつかさどる』

## 町民からの陳情・請願

### \* 請願 『冬期間の生活道路(町道)除雪』

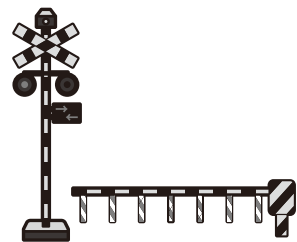
- 住所 只見町大字只見字上の原
- 氏名 赤塚洋・ミツル 赤塚公生・幸子
- 付託委員会 経済文教常任委員会



町道上ノ原7号線

### \* 陳情 『塩沢高塩踏切の(宮前踏切)安全対策』

- 住所 只見町大字塩沢字上田1385
- 氏名 塩沢区長 渡部公平
- 付託委員会 総務厚生常任委員会



### \* 陳情 『只見川河川改修に伴う只見集落の内水対策整備』

- 氏名 只見川河川改修計画検討委員会  
会長 菅家二千六
- 付託委員会 総務厚生常任委員会





## 総務厚生常任委員会

# ●只見町にあった認定 保育園設置を検討中

今年度、保育所入所希望者の待機児が発生し、当委員会は重大な問題として委員会審査を行ってきた。調査で明らかになった問題点を中間

- 報告とする。
- 1 実態に合わない只見町保育所条例・管理運営規則の見直しが必要となっている。
  - 2 只見・朝日・明

和保育所とも3歳児からを想定した施設であり、乳児にも対応できる育児環境の改善が必要である。

3 保育士の労働環境は、乳児保育において目が離せないことなどにより、保育士の過重負担となっている現状が明らかになった。

○待機児童解消に向け、保育士の確保を

最優先課題として引き続き有効な募集を継続すること。同時に、現在の保育士の人数で待機児童を発生させない保育所の運営システムを検討すること。

○只見町第2期「子ども・子育て支援事業計画」にもとづき、認定保育園設置の検討が進められていることを確認した。

## 経済文教常任委員会

# ●薪ボイラー 導入効果の調査検討

主に「薪ボイラー」導入に関し、先進地視察を含め調査した。鮫川村の薪ボイラー導入施設「さざり荘」と「薪ステーション」をブナセンター館長である紙谷氏、当局「薪ボイラー推進室」と共に視察研修。集

積方法や施設での運用状況、導入効果等を調査した。

木材加工分野においては輸入材に頼り国産材の利用は、費用対効果の面で利用されてこなかった。例外に漏れず当町においても林業分野は

間伐されずに伐期を過ぎてしまった杉林などが多く点在する状況となっている。

委員会としては費用対効果、5年、10年先の只見の山林を視野に更に重点的に調査していく。

また只見線広場について、外灯設置、舗装区間の拡大等について委員会として担当課に要望した。併せて福



鮫川村「さざり荘」の薪ボイラー視察研修

島県生活環境部只見線管理事務所との意見交換会等を提案し、J・R只見線の今後について調査していく。

## 議会運営委員会

11月 7日 議員控室並びに図書室の利用について協議、行政視察について協議、古殿町議会運営委員会視察の受け入れについて協議、請願・陳情について、赤塚洋氏、赤塚公夫氏より提出された請願並びに、塩沢区より提出された陳情について付託等の協議

11月17日 古殿町議会運営委員会視察に係る受入れ対応

11月21日 只見町議会11月会議の開催について協議、請願・陳情について、只見川河川改修計画検討委員会から提出された陳情書について付託等の協議、行政視察の日程等について協議

12月 8日 12月会議提出議案等について協議、議事日程等について協議を行い、会議日程を12月13日から16日までの4日間に決定、諸般の報告、請願・陳情付託、各委員会所管事務調査報告、一部事務組合議会報告、全員協議会の開催、一般質問の通告内容、行政視察、請願・陳情の審査基準について協議、その他、広報公聴常任委員会でのタブレット試験運用について協議



古殿町議会運営委員会と一緒に(只見町議場にて)

## 広報広聴常任委員会

- ① 議会だより170号発行作業  
(1月27日発行)
- ② 議会広報を通じて町民の方へ行政内容が分かりやすく、読んでみたくなる 広報誌の発行を目指し取り組んでいく。
- ③ 町民の声を市政に反映させるための広聴活動にも力を入れ取り組んでいく。
- ④ 山形県川西町へ議会だよりの編集について視察研修(11月14日)
- ⑤ 磐梯町役場デジタル変革戦略係へ自治体DXの視察研修(11月15日)



磐梯町自治体DX視察研修



町村議会広報12年連続入賞の山形県川西町議会視察研修

## 一般会議募集のお知らせ

広報広聴常任委員会では町民の皆様からの様々な意見を聴き議会活動、市政に反映し、より良いまちづくりを考える場として一般会議開催の募集をしております。

### \*テーマ

テーマはまちづくりについてどのような事でも構いません。申し込みの際にお知らせください。

### \*開催方法

日時・場所については皆さんの都合に合わせてご相談させていただきます。

### \*申し込み方法

議会事務局へご連絡ください。(☎82-53300)

町民の皆さんと議会が一緒になりまちづくりについて話し合ってみませんか！

## 南会津地方環境衛生組合議会

### ● J F E エンジニアリング鶴見工場での議員研修

11月28・29日の両日。南会津環境衛生組合の議員研修があり、神奈川県横浜市にあるJ F E エンジニアリング鶴見工場での議員研修を実施し、当議会からは大塚純一郎組合議員と鈴木好行組合議員が参加した。

J F E エンジニアリング(株)は東部、西部のゴミ焼却施設の建設、及びメンテナンスの委託先であることから、今回の研修先となった。

1日目の研修では次世代高速通信(5G)を使用する遠隔操作や自動運転による無人化、省人化の実証状況や、次世代のプラント運営に向けた取り組みなどを研修し、2日目には産廃処理施設で発生するメタンガスや焼却熱を利用した発電施設などリサイクル率100%を目指している施設や、取り組みを研修することができた。

老朽化した当組合のプラントの今後を考えるうえで有意義な研修となった。



説明を受ける組合議員



只見保育所「どきどき☆わくわく発表会」でのひとこま。  
どきどきしながら順番を待っているとき会場内の家族を見つけ、手を振る姿がとてかわいかったね。



表紙の写真に想う



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！  
\*注 2名が一緒の録画動画になっています。



ブナりん

一般質問者席

## 一般質問

- 酒井正吉郎……………12  
J R只見線の再開通を活かした今後の施策は
- 菅家 忠……………13  
町執行機関と議会の力関係について
- 矢沢 明伸……………14  
広大な森林資源の維持、活用方策は
- 小沼 信孝……………15  
観光受け入れ体制作りは
- 佐藤 孝義……………16  
町職員の定年延長について
- 三瓶 良一……………17  
只見線再開通にあたり受入れ体制と課題について
- 山岸 国夫……………18  
難聴者への補聴器購入補助について
- 鈴木 好行……………19  
若者移住・定住にむけた新たな施策は
- 中野 大徳……………20  
J R只見線全線開通に伴う対応策について
- 酒井 右一……………21  
急速な人口減少の原因は
- 齋藤 邦夫……………22  
湯ら里の宿泊施設の拡充を速やかに

# 町政を問う

町を想い11名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。



# JR只見線の再開通を 活かした今後の施策は

**答** 第7次振興計画に基づき、魅力的な町づくりを



さか い しょうきち ろう  
**酒井正吉郎** 議員

**問**

10月1日の再開  
通後の各観光施  
設への入込み数は

**答**

想定以上の来訪  
者があり、全体  
で昨年比233%の実  
績があった。

**問**

振興公社による  
インフォメーシ  
ョン機能は充分だっ  
たか。

**答**

不慣れな中出来  
る限り対応に努  
めたが、想定外の人出  
に翻弄され課題が残っ  
た。

**問**

駅前を中心とし  
た休憩施設、飲



駅前の賑わい

食、物販の提供に対す  
るお客様の満足度、ま  
た観光施設への移動手  
段は充分だったか。

**答**

いろいろな面  
で、受け入れ態勢づく  
りや飲食サービス提供、  
二次交通を含めての配

置に加え無料の周回バ  
スも追加配備し、でき  
る限りの対応に努めた。

**問**

ホームから駅舎  
までの通路に屋  
根整備が必要ではない  
か。

**答**

JRと期限や順  
番を決め具体的

に交渉を進め、利用者  
の利便性を図りたい。

**問**

受け入れ態勢づ  
くりとして、施  
設の営業時間、町内  
の食事や休眠中の施設  
復活支援提供、自然環  
境の整備、案内人の育  
成、体験型観光推進。  
進め方は。

**答**

只見線前線運  
再開という大き  
なインパクトを持つ事  
柄を契機に町民が望む  
町づくりの更なる具体  
化を進め、振興計画に  
基づき、みんなが住み  
たいと思いい、魅力的で  
安心して住めるまちづ  
くりを目指して進めた  
い。

## 八十里越えの 全線開通に向けた 対応策について

**答** 観光連携コンセプトの検討、  
取組みを実践していく

**問**

具体的な対応策  
は。

**答**

国から2026  
年に開通予定が  
示され、三条市、只見  
町、南会津町の自治体  
により「越後・南会津

街道観光地域づくり懇  
談会」を設置。三市町  
の観光関連事業者等と  
は「同上の円卓会議」  
を設置し、広域観光連  
携コンセプトの検討や  
取組みを実践していく。

# 町執行機関と議会の 力関係について

## 答 対等の立場で議論

**問** 町執行機関と議会議員が対等な立場で議論できているか。

**答** できている。ともに町民の代表である議会議員と町長が、お互いに対等の立場で議論を重ね、町発展のために取り組むことは当然のことである。

**問** 私は議場で自分の考えが正しいことを証明したいのではない。対立しやすい関係であるが、双方が納得できる答えを作っていくのが議論だと考える。

**答** 議論に臨む姿勢を新潟プロレスから教わったので紹介したい。相

手の技を受けきるのがプロレスであり、戦っているのは相手ではなく自分自身である。私は町執行機関と戦っているのではない。相手が大切にしていること、伝えたいことを受け止めてから自分の考えを述べるようにしている。

かっている。町民にとって時給5万円の価値のある質問をしなければならぬ。答弁も同様の価値を求められる。相手の考えを誠実に受けとめた「検討します」は理解できるが、その「検討します」に時給5万円の価値があるかは意識していただきたい。

**答** やる気がないのであれば「検討する」は言わない方が良く考える。担当課長は説明員のため断言できる立場にないため質問によっては私町長に求めていただきたい。



ただし  
**議員 忠**  
け  
**家 菅**  
かん

**問** 本会議場で発言する際はコストを考えなければならぬ。町執行部と議会議員を合わせて約25人、時給2千円だとしても私の一般質問の1時間に5万円のコストが掛

**答** やる気がないのであれば「検討する」は言わない方が良く考える。担当課長は説明員のため断言できる立場にないため質問によっては私町長に求めていただきたい。





# 広大な森林資源の維持、活用方策は

**答** 森林の保全と活用は必須である



あきののぶ  
ざわ  
矢沢明伸 議員

**問** 森林環境譲与税が国から交付されている。令和6年からは森林環境税として千円上乘せされ徴収が始まるが、森林の活用方策をどのように考えているか。

**答** 広大な森林を有する只見町においては森林の保全と活用は必須であり、薪ボイラー事業化等により一つ一つ課題を解決しながら、長期的な森林整備、森林資源の活用サイクルとなるよう取り組んでいく。



自然との共生、森林資源の活用を!!

**問** 様々な課題により森林資源の活用が図ることができないとの答弁であるが、その課題をどのように捉えているのか。

**答** 急峻な地形、伐採費用が掛かる、市場が遠い、森林所有者が細かく分かれてい

る、相続など所有の管理など様々な課題として捉えている。

**問** 森林の現状は高齢化、山地離れ、不在地主等農地と同じような状況がある。林地について境界が分からない状態で、多くの自治体で課題となつて

いる。国負担の山村境界基本調査などの事業もある。譲与税の財源で境界の調査等行つて自治体もある。林地の明確化に取り組む考えはないか。

**答** 林地の国土調査を要望した経過もある。他の自治体の

例を参考に森林環境譲与税の使途、有効な活用を研究し、納税者に説明できるように取り組んでいく。

**問** 森林環境譲与税は景観整備に使われ、残は基金の積立となつている。一昨年の年末の大雪で、布沢、塩ノ岐が倒木で長時間の停電となつた。電気、電話線等の支障木、道路際の危険木等伐採、整理し、町民のインフラの保全を確保するためにこの財源を使うことができないか。

**答** 昨年布沢地区、県の森林環境税を使い伐採した。東北電力でも予防のための伐採等に取り組んでおり、危険木等について県の財源、また譲与税も使えるので町内インフラに影響ないよう可能な限り取り組んでいきたい。



# 観光受け入れ 体制作りは

**答** 「ご当地ナビ」アプリの導入を検討

**問** 町長は観光をどの様に捉えて今後進められるのか。

**答** 観光を町の基幹産業と考えしっかりとした対応をしていきたい。

**問** 10月1日以降町内の入込数は？

**答** イベントを含め39,951人。

**問** 只見線に乗ってこられた人数も入っているのか。

**答** はいっていない。

**問** 観光を考える上で入込人数をつかむことが重要ではないか。

**答** データを把握し検討していくことが貴重なことだと思っ

**問** 大勢の観光客が訪れ多くの意見が出されたと思うが、多くの意見を取りまとめ、対応するところ作るべきではないか。

**答** 意見を聞くところを作っていくべきだと考える。

**問** 観光地としてトイレ新設をすることを考えはないか。

**答** 新設の前に、順次既存の公衆トイレを洋式化していきたい。

**問** 以前にも観光看板の重要性を話しているがどのようになっているか。

**答** 施設案内看板は修正整備をした。今後も引き続き点検と改善を進めて行きたい。

**問** 只見線ビューポイント整備はどのように進められているのか、駐車場を含めしっかりとした対応して頂きたい。

**答** 全線運転再開通した只見線は、町の観光要素として重要なものと考えておりますので、引き続き整備を図っていきたい。

**問** 今後の観光客の受け入れ体制作りの具体的な案はあるのか。

**答** 組織体制の強化、第三セクター2社の統合を図り、来訪者の行動範囲や消費動向などのデータを蓄積、効果的情報発信、データの分析、ニーズに合った商品、サービスの開発を進める環境づく

りが必要と考え、観光庁監修の「ご当地ナビ」アプリの導入を検討し、観光情報の発信や加盟店でのポイント制度、アンケート機能等を活用した情報収集の仕組みを構築するものであり、次年度実施計画にあげている。



ビューポイントに多くの観光客



お ぬま のぶ たか  
**小沼信孝** 議員

# 町職員の 定年延長について

**答** 令和5年4月1日施行を目途に  
条例改正案を12月会議に提案。



さとう たかよし 議員  
**佐藤 孝 義**

**問** 県は、12月の定  
例県議会に条例  
改正案を提出すると聞  
く。当町も近年特にマ  
ンパワー不足の部署が  
問題となっている。少  
子高齢化が急激に進む  
当町こそ、いち早く検  
討すべきと思うが、町  
として国や県に準ずる  
のか、独自案を検討す  
るのか、町長の考えを  
問う。



**答** 生産年齢人口が  
減少する中で、  
複雑で高度化する行政  
課題に対応する観点か  
ら、能力と経験のある  
高齢期の職員を最大限  
に活用し、次世代にそ  
れを継承していく必要  
と考える。町において  
も、定年年齢65歳まで  
の段階的引き上げ、管  
理監督職務上限年齢  
制や定年前再任用短時  
間勤務制の導入など、  
令和5年4月1日施行  
を目途に、国・県に準  
じた内容の条例改正案  
を12月会議に提案した。

## 「季の郷湯ら里」 改修工事はどこに？

**答** 現在の運営において  
人的体制の構築が優先事項と考える

**問** 本来は、只見線  
の再開通、国道  
289号八十里越え開  
通を見据えて、少なく  
なった町内宿泊キャパ  
の増大と湯ら里の経営  
改善が目的であった。  
増築の改修工事が、い  
つの間にか、薪ボイラ  
ーに代わってしまった。  
現に只見線再開通には  
間に合わず。多くの観  
光客の期待に応えられ  
なかった。八十里越え  
開通に向け急ぐべきと  
思うが、町長の考えを  
再度問う。

**答** 具現化すべき検  
討をしてきまし  
たが、現在の運営にお  
いて人材の確保が課題  
であり、投資効果が十  
分に発揮できる人的体  
制の構築が優先事項と  
考える。

は地球温暖化に貢献す  
る自然エネルギーであ  
り「自然首都只見」「ユ  
ネスコエコパーク」を  
掲げる只見町の将来の  
町づくりの大きな政策  
の中の肝であると考え  
るが町長の考えを問う。

その後に収容能力の拡  
大について議会と協議、  
検討していきたい。ま  
た薪ボイラーの導入は  
私も同様に考えており、  
事業実現に向け進めて  
いきたい。



食事も重要 とんかつ定食 (季の郷湯ら里)

# 只見線再開通にあたり 受入れ体制と課題について

**答** 来春に向けて実施すべき

内容と体制を取りまとめ中

**問** 只見線の洪水被害の甚大さにくの人は復旧不可能と見たと思う。しかし、「只見線の復旧を求める会」が結成され、地元国会議員の支援で運動が広がり軌道法が改正され、全線開通が実現した。しかし、受け

入れ態勢の準備不足は否めない。只見線の複合駅舎化は町長の約束事項だ。対応を急がないと折角の盛り上がり冷めてしまう。緊急対策として「うまいもんまつり」のように大きなテントを用意し、そこで弁当やおにぎり

等の昼食を提供することもできる。田子倉ダム、河井記念館などへの足の対応も協力連携をしておくべきだ。旅館、民宿は中型バスを持つている。電話一本で対応いただけるような関係であるべきだ。金山町の写真家は台湾、東南アジア、最近は一ロツパからも問い合わせがあるとのこと。観光庁は2030年に外国人の観光入込客を6千万人に増大計画だ。只見町に行ってみたいという町づくりが必要だ。



さん べりょう いち  
**三瓶良一** 議員

**答** 想定を遥かに超えた大勢の入込

客だった。自動車の来町者も多く大賑わいとなった。只見線の運行、食事、民泊、交通手段等については小沼議員への答弁の通りだ。駅舎等については担当課長が折衝中だ。年が改まったら私が福島、仙台、本社等にも出向き話をしたい。イベント広場は雪祭り、うまいもんまつりだけでなく毎月、毎週でも賑わい創出の空間にして行きたいと考えている。令和5年中に方向性を定め、6年に実施計画、7年に建設、8年度の八十里越えの全通に間に合わせたい。早める努力は出来る限りする。10月1日の全線運転再開時の対応は準備不足、人員不足で反省している。来春に向けて実施すべき内容と体制を取りまとめ中だ。

## 少子化、人口減少と地域振興は

**答** 次年度から移住定住対策を強化する組織改革を実施する

**問** 昭和村の人口は微増している。檜枝岐はUターン者が増えている。只見の有効対策は。

**答** 次年度から移住定住対策を強化する組織改革を実施する。その為のワンストップ体制、相談窓口、移住定住者の掘り起こしを進める。

昭和村の花卉栽培支援と同じ制度をトマト、花に採用している。町独自の研修支援制度もある。





# 難聴者への補聴器 購入補助について

答 課題多く調査・研究していく



やま ぎし くに お  
**山岸国夫** 議員

**問**

3月の一般質問への答弁では、1, 医療機関など専門家の意見を聞くなど検討。2, 耳が聞こえにくくなっている人の実

**答**

国・県からの補助無いもとで、課題多くあり調査・研究していく。

**問**

軽度・中等度の難聴者に対し、早期に補聴器を使用することにより、高齢者の社会活動の維持・生活の質の低下を防ぐためにも補聴器購入補助制度創設を求める。

**答**

1について、厚労省の「調査報告書」を参考にしている。2は、高齢者の通

態調査の在り方を研究。3, 補聴器相談医の制度の町民への周知について研究。4, 県の軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業補助金制度に対応した町の要綱制定を急ぐとしている。その後の対応を問う。



**答**

趣旨は分かるが町単独で作るには難しい環境にある。

**問**

健康で文化的な生活送るために補助必要。制度をつくり充実させることを求める。

この場合、健康相談を実施する際に聞こえの相談を行う。3は、保健福祉課の窓口配置し対応。4は、本年4月に制定している。

## 健康保険証の マイナンバー カード化について

答 保険診療を受けられること大前提

**問**

国は、2024年秋に健康保険証を廃止しマイナンバーカードへの一元化を図る方針を示した。国民皆保険制度の下では事実上の義務化を強制することになる。現行でも健康保険証を使ったオンライン資格確認システムで十分対応できるうえ、国が個人情報を一元管理することや情報漏洩の点からも問題であり国に中止を求めること。

**答**

マイナンバーカードは申請に基づき発行するもので、取得は任意となってい

る。カードを取得しない方、取得が困難な方がいるという想定がある。現在の保険証が廃止となった場合でも、被保険者が必要な保険診療を受けられることが大前提であると考えている。国の動向を注視しながら必要な対応をしていく。



# 若者移住・定住にむけた 新たな施策は

**答** イベント参加などPR強化を図る

**問** 令和3年度決算をみると移住・定住に向けた予算執行が目標を下回っている。新たな政策はあるか。

**答** 今年度は移住コーナーディネーターを中心にWEBサイトの運営を始めたほか、移住・定住希望者に向けたイベントに参加す

るなど、PR強化を図っている。

次年度は、空き家を活用したお試し住宅の整備も進めたい。

**問** 昭和村では、からむし織や、カスミソウ栽培という具

体例をあげて移住・定住者を増やしている。将来設計をたてられる



すず き よし ゆき  
**鈴木好行** 議員

## 「日本一子育てしやすい町づくり」の講演目的は

**答** これからの子育てについて考えるため

ような、わかりやすいPRをしてはいいかがか。

**答** 提言をいかし、様々な工夫をしながら、PRに努めた

**問** 未婚者に対し、出会いの場を提

供する支援が必要だ。考えはあるか。

**答** 南会津地方振興局と連携し、南会津郡内をフィールドとした事業実施を協議・検討している。

**問** 「日本一子育てしやすい町づくり」の講演会を実施した目的と、今後の政策にどうかすのか。

**答** これからの子育てについて考える機会とすること、が目的であり、「只見町の保育を考える懇談会」を設置し、今後の政策にいかしたい。

**問** 「乳幼児を安心して遊ばせる、若い親同士が集える場所がない」という声がある。整備する考えはあるか。

**答** 「乳幼児を安心して遊ばせる、若い親同士が集える場所がない」という声がある。整備する考えはあるか。

**答** 各層の方々の意見をいただき、検討する。

**問** 柳津町や昭和村に設置された「ラッキー公園」のように、利用者が楽しめる公園整備が必要だ。整備する考えはあるか。

**答** 必要性は認識している、任期中に整備したい。

**問** 町内の公共施設において、授乳室やオムツを交換する場所が少ない。整備が必要と考えるがいかがか。

**答** 今後の施設については子育てにやさしい公共施設とするとともに、既存の施設についても設置を検討する。



多くの子供たちで賑わうラッキー公園



# JR只見線全線開通に伴う対応策について

**答** 道の駅的複合施設整備を優先する



なかのたかのり 議員  
**中野大徳**

## 複合駅舎について

**問**

只見駅の複合駅舎を明言されているがJRとの交渉状況、また、課題はあるか。

**答**

複合駅舎を建設するための用地確保が必要である。そのため現駅舎からホームに近い場所で、現在は資材置場として利用している場所の一部をできる限り払い下げて頂きたい旨の申し入れをしたのでJR側で内部調整を進めている。駅舎を建設する場合の

## 道の駅構想について

**問**

道の駅建設場所を今年度（令和4年度）中に特定し、整次第協議したいと明言されてきたが進捗状況は。

**答**

令和4年度中に場所を決めたいと答弁してきたが、只見駅前賑わい創出事業による只見線広場の整備が、只見町道の駅基本計画における、町の総合案内機能と受け入れ態勢の整備とした取り組みであり、今後これを更に進め、観光・商工・地域振興の核と

条件などについて引き続き協議する。課題としては建設場所についてJRがどこまで払い下げが可能か。駅前移転により現在の設備移転費用を町が全額負担しなければならない事である。



複合駅舎が待たれる只見駅

なる道の駅的施設整備とした段階に入っている。このような状況の中で、只見駅前賑わい創出事業の発展進化として道の駅的複合施設

整備を優先して取り組んでいきたい。同時に別の場所への道の駅整備を平行して進めることは、この複合施設整備に集中して取り組む

事ができなくなる恐れがある。只見駅前賑わい創出事業としての道の駅的複合施設整備を優先して取り組ませていただきたい。



# 急速な人口減少の原因は

**答** 男性優位の社会構造等が要因と考える

**問** 人口減少はさらに加速していると考えますが、なぜ人口減少が止まらないか、その原因を承知しているか。

見町も同様の傾向が続いている。また、進学、就職などによる転出での社会減も合わせた減少が続いているものと認識している。

社会進出が進み子育て期間中にキャリアを積めないというまだまだ男性優位の社会構造等が要因となっているものと考ええる。

**答** 出生数の減少と死亡数の増加による自然減、これは日本全体が抱える問題でもある。日本の総人口は平成20年をピークに減少が続いており、只

その原因については、子どもを育てるのにお金がかかる一方で若い世代の所得が低い傾向にある、奨学資金という名前の教育ローンの返済などの負担、女性



さか い ゆう いち  
**酒井 右一** 議員



## 「日本一の子育ての町」事業の内容は

**答** 関係者の意見を参考に具体的に検討をする

**問** 町長は「日本一の子育ての町を造る」と各所で公言している。しかし、「日本一の子育ての町」、町長から議会に具体的な説明はない。日本一の子育ての町の姿はど

のような姿か？そのためにどのような事業を行うのか？

**答** 「只見町が子育て日本一になるまちづくり」〜子ども達の成育環境の充実からまちづくりを考える〜は、7月15日に菊池信太郎医師をお招きし実施した講演会の演題である。

講演では、子どもが主役の居心地のよいまちづくりを提案された。そしてそれは自動的に高齢者にも優しい町であるとのことである。私も講演を拝聴し共感した。具体的にどのような事業をとのことだが、只見町の保育を考える懇談会から提言もあり、議員各位、子育てに関係される方々のご意見をいただきながら具体的に検討をする。



# 八十里越え開通に併せた対策を

**答** ご当地アプリを導入し検討する



さいとうくにお  
齋藤邦夫 議員

**問**

国道289号開通は交通量や観光客の増加など地域の産業振興に大きな波及効果が期待される町長の認識と対策を問う。また、町産業振興の課題である特産品開発について伺いたい。

**答**

新潟・福島・北関東を結ぶ観光ルートや物流網の充実など、受け入れ態勢の構築が非常に重要と認識している。交通量はおおむね1日1500台(町内2600台)と試算、町内国道道の整

備促進など県当局と検討会を持って進めている。観光庁監修のご当地アプリを導入し効果的な施策に結び付けた。特産品開発では三条・只見産米を使った

## 湯ら里の宿泊施設の拡充を速やかに

**答** 先ず経営改革・次に収益施設の整備

**問**

国道開通で旅客の大幅増加が見込まれ、旅館の減少で宿泊客の受け入れが危惧される。議会特別委員会の調査報告の通り、公共の宿「湯ら里」の宿泊施設を速やかに整備すべきと考える。今後の経営方針と施設整備を問う。

**答**

宿泊施設の拡充は重要であるが、湯ら里(株)には人的体制の構築に課題があり経営改革が不可欠と認識している。他の観光施設と経営統合して合理化を図り、お食事処の施設改修を行いサービスの向上に努めたい。

**問**

湯ら里(株)は公益分を除き企業努力で経営が期待でき

る施設として設立されたが、客層の変化により経営が厳しくなってきたと考える。現在の客室稼働率を伺いたい。

**答**

当初は、1部屋当たりの平均宿泊者数3〜4人見込めたとコロナ禍の影響もあり1人1部屋利用が

多くなり現在1・67人である。満室でも利益が出ない状態で部屋数の増築は当然必要と考える。専門家に企業診断を頂いた結果、事業の統合が望ましいと判断し、先ず経営改革を行い引き続き施設整備を進めたい。



部屋数の増築が必要



ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.34



アカショウちゃん

## 「一部事務組合」ってなあに?



イワっぺ

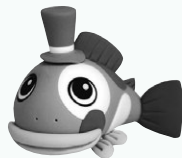
只見町キャラクター ©Tadami



**ブナりん** 一部事務組合ってなあに?

**議会議長** 特定の事務を関係の市町村で共同処理する方式の特別地方公共団体で、只見町は、南会津地方広域町村圏組合と南会津環境衛生組合の2つに加入しているんだよ。

**イワっぺ** どんな仕事してるの?



**議会議長** 広域町村圏組合は南会津郡内3町1村で構成されているんだよ。一番身近なのは救急消防かな。そのほかにも視聴覚教育、広域観光事業、救急医療体制の整備、老人ホーム入所判定委員会、介護認定審査会の設置及び運営、特別養護老人ホームの整備、語学指導を行う外国青年招致に関することを共同事務処理するんだよ。

環境衛生組合は、只見・南会津・下郷の3町が加入していて、ごみ処理、し尿処理、火葬を行っているんだよ。



**アカショウちゃん** それぞれの組合の構成って?

**議会議長** 加入している町村の町村長と各議会で選出された議員で構成されていて、只見町も経費の一部を人口規模に応じた負担をしてるんだよ。

**ブナりん** 救急車や消防車、ごみ処理など身近なことやってるんだね。

**議会議長** そうだよ、只見出張所は老朽化のため去年から新築工事を始めてるんだよ。

**イワっぺ** いつごろ完成するの?

**議会議長** 令和6年に完成予定だよ。

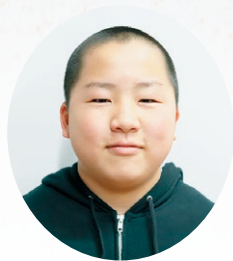


只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。





### 大好きな只見町



只見小学校

6年 五十嵐千紘

ぼくは、総合的な学習の時間で只見の産業

について調べてきました。

只見には、熱い思いをもって、町のために一生懸命がんばっている方々がいることを知りました。ぼくは、そういう方々がいることを発信し、多くのの人に只見に興味をもってほ

しいと思います。ぼくは、大人になっても只見に残り、この豊かな只見町を守っていきます。

#### ひこと

今、全国から注目されている只見町！皆さんの熱い思いを発信していく絶好のチャンスだよ。

### 大好きな只見町



只見中学校

1年 佐藤 翔

僕は只見町が好きです。理由は2つあります。1つ目は、自然が豊かなところです。春夏秋冬で違った景色

を見ることが出来ます。2つ目は、人が優しいところです。僕は、生まれつき身体が弱く、1人ではできないことがたくさんあります。しかし、周りの方々に支えられて生活することができています。毎日、感謝の気持ちでいっぱいです。

これらの魅力をたくさんの方に伝えられる

よう、勉強や運動に一生懸命に取り組み、只見町に貢献していきたいです。

#### ひこと

只見の素晴らしい自然を後世に残す事が『自然首都只見・ユネスコエコパークの町』の大切な役割だよ。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症によって様々な行動制限、不安がもたらされまだまだ収束が見えないなか3年が過ぎ、令和5年の新年を迎えました。

国際情勢も不安定な状況、更に燃料や電気、様々な価格の高騰など私たちの生活も大変厳しい状況となっています。

その中でも只見高校の甲子園出場や只見線の再開など明るく希望の持てることもありました。今年も一人一人が持てる力を発揮し、できる

ところから行動していくことが住みよい町づくりにつながると思います。

議会もより良い町づくりのため町民の皆さんの声に耳を傾け、議会だよりも多くの皆さんに登場していただき、分かりやすく親しみやすい紙面づくりに努めていきたいと思っています。

(矢沢 明伸 委員)

#### 発行責任者

議長 大塚純一郎

#### 広報広聴常任委員会

委員長 小沼 信孝

副委員長 菅家 忠

委員 中野 大徳

委員 山岸 国夫

委員 鈴木 好行

委員 矢沢 明伸

発行：只見町議会広報広聴常任委員会

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見町下2591番地30

TEL：0241-82-5300 FAX：0241-82-5222 E-Mail：gikai@town.tadami.lg.jp